

2023年度 音楽Ⅰ シラバス

芸術科「音楽Ⅰ」シラバス	学年（単位数）	第1学年（2単位）
	使用教科書	TUTTI Plus 教育出版
	担当者	新城 隆明

1、 目標

- ①中学校での音楽学習をふまえ、さまざまな音楽にふれながら創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
- ②音楽を多角的にとらえ、その表現を探求する
- ③さまざまな音楽について、その歴史的・文化的背景を捉え深く味わう。

2、 内容と学習方法

- ①「声の世界」、「楽器の世界」、「舞台芸術・ミュージカルの世界」から音楽の表現をとらえ、その方法を探求する。
- ②世界のさまざまな声楽曲にふれ、「声と音楽」の多様性と奥深さを知る。
- ③声や楽器を用いたさまざまなアンサンブルに取り組む。
- ④声楽曲・独奏曲・ミュージカル・諸民族の音楽・郷土の音楽など、代表的な音楽を鑑賞し味わう。

3、 履修上の注意点

- ①中学校での学習に比べ「自分で学ぶ」という場面が多くなる。生涯に渡り音楽を愛好していくために音楽を「自分で学ぶ」態度と方法を習得することが大切。高等学校ではその基礎となる学習場面を用意して積極的に取り組む。
- ②自分の音楽的視野を広げることが大切。自分の知っている曲、興味のあるジャンルをもとに、それらと他のジャンルの音楽とのつながりを見つけ、どのような音楽にもよさがあることをじっくりと探っていきたい。
- ③音楽の表現、特に「歌うこと」は、「話すこと」に近い人間の基本的な行為である。世界のさまざまな民族の多様な歌を歌い共通点や違いを感じ取ろう。

4、 学習計画及び評価方法等

	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考
1 学 期	オリエンテーション 楽しい歌声	4	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の心がまえを知る ・新しい自分・友人との出会いが意味するもの ・明るくのびのび声を出そう 	1学期は声の表現の楽しさやおもしろさを感じ取る。歌唱表現では斉唱に取り組み、鑑賞ではミュージカルのおもしろさを味わう。
	校歌を知る 楽典の基礎知識 リコーダーに親しむ ミュージカルの世界	5 ～ 6	<ul style="list-style-type: none"> ・母校の校歌について知り、意味を理解する。 ・発表形式の実技テストに備え、反復練習をする。 ・楽典の基礎を学習する。 ・リコーダーの歴史を理解する。 ・リコーダー運指を確認する。 ・簡単な練習曲に挑戦する。 ・ミュージカルの歴史を学び、ミュージカル映画「雨に唄えば」を鑑賞し、そのテーマを歌う。 	
	1学期のまとめ	7	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テストリハーサルを行う。 ・実技テストを発表形式で行う。 	

2 学 期	楽典の基礎知識 独唱曲に挑戦 声楽曲聴きくらへ リコーダーアンサンブルを楽しむ。	9 ～ 10	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典の基礎を学習する。 ・イタリア歌曲やドイツリートに取り組む。 ・日本歌曲に取り組む。 ・歌詞のメッセージを味わい、詩の内容を理解した歌唱表現を意識する。 ・日本と外国の民謡を歌い、鑑賞し、素朴な歌が歌い継がれている意味を探る。 ・特徴のある声楽曲を鑑賞し聴きくらべる。 ・リコーダーアンサンブルにグループで挑戦する。 	2学期は独唱に取り組む。グループに分かれて調べ学習も行い、歌詞の内容をより深く感受して歌唱表現を工夫する。鑑賞では、曲の構成や背景等について調べて発表する。
	2学期のまとめ	11 ～ 12	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テストリハーサルを行う。 ・実技テストを発表形式で行う 	
3 学 期	合唱の響きを味わう クラッピング 発表会	1 ～ 3	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱曲の練習に取り組む。 ・リズムの基礎を学び、創作リズムに挑戦する ・曲の間奏部分に、創作リズムを挿入して演奏を楽しむ。 ・グループ学習を通して、1年間のまとめを行う。 ・担任を招待し、感謝の気持ちを込めて学習の成果を披露する。 	3学期は、主に「合唱」・「リズム創作」に取り組む。グループで練習を積み重ねて発表する。

5、 評価方法

下記の3つの観点から評価した1学期，2学期，3学期の成績を総合し年間の学習成績とする。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的基本的な知識を理解している。 ・音楽の雰囲気を感じ取りながら、自己のイメージと構造や文化的歴史的背景との関わりについて、理解している。 ・創意工夫の課程で様々な音楽表現を試しながら、その表現の意図を自ら活用できる技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に対する姿勢 ・グループ学習に取り組む態度 ・多様な表現活動 ・ワークシートの記入状況 ・筆記テスト・実技テスト
思考力・判断力 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、感受しながら関わりについて考えている。 ・音楽に対するイメージを膨らませ、表したい音楽表現について考え、どのように表現するかについて意図を持っている。 ・曲想を感じ取りながら、自己のイメージや感情を音楽的背景と関わらせて聴くことができる。 	
学びに向かう力 人間力等	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間との交流を通して各自の考えに気づきそれを共有している。 ・感じ取ったことに共感しながら、個々の学びを深め、音楽のよさや美しさを味わっている。 ・音楽と人々の生活に関心を持ち、それを自分の生活または社会に生かし生涯にわたって音楽を愛おしむ感情を見いだしている。 	

6、 担当者より

- ・演奏の授業では、歌唱（独唱・合唱など）、器楽（リコーダーなど）の学習に取り組んでいきます。初めてでも、また自信がなくても、臆せずにチャレンジして欲しいと思います。
- ・演奏や創作した作品の発表、鑑賞した楽曲や演奏に対する自分なりの考えを述べるなど、プレゼンテーションの力も身につけていきましょう。1年後成長した自分にきっと気づくはずですよ。